

3. がん相談支援センターの活動における PDCAサイクルの確保

- 1) これまでの議論の経緯
- 2) ワーキンググループでの検討について
- 3) 情報提供・相談支援部会としての
PDCAサイクル確保に向けた取り組みについて

今後の具体的な進め方について（案）

(1)活動の見える化について

- 「利用者調査」 →
- 「相談件数」 → 「(2)相談件数のカウント」のところで確認
- 「相談件数以外の項目」 → 現況報告で
- 「実施状況」（各県で決めた活動内容） →

今後の具体的な進め方について（案）

(1)活動の見える化について

● 「利用者調査」→

検討内容

- 研究班（2015年度）の協力により検討を開始する
 - 「利用者調査」の実施の仕方、体制をどうするのがよいか
 - 利用者の声をより反映できる調査の仕方（調査結果回収方法等）
 - 各県へ、各施設へフィードバックする方法
 - フィードバック後の結果の活用方法など
- 研究協力施設の募集（2015年9月頃）
 - できるだけ県拠点を含む複数施設が参加できる
 - IRB審査に迅速対応可能な県単位での募集
- 各都道府県での検討：募集までに、**県単位で意見の集約を行う**
 - 研究協力について、都道府県拠点病院に対して、部会事務局より意向を伺う（2015年9月頃）

今後の具体的な進め方について（案）

(1)活動の見える化について

- 「利用者調査」 →
- 「相談件数」 → 「(2)相談件数のカウント」のところで確認
- 「相談件数以外の項目」 → 現況報告で
- 「実施状況」（各県で決めた活動内容） →
 - 各都道府県での検討：県内で進める活動・取り組みを議論し、決める
 - 検討や実施が可能な県でスタートする
 - 各県の検討・実施状況について、部会事務局よりアンケート（2016年2～3月頃）
 - ↓ 2016年度 第1回部会において
 - 各県の検討・実施状況の報告と共有
 - ①各県の取り組み状況について、「アンケート結果」を共有
 - ②「具体的な検討を開始した県からの報告」による共有
 - 互いの県の取組みを参考にするなど

今後の具体的な進め方について（案）

(2)相談件数のカウントについて

- WG案を採用して、統一した方法で相談件数を把握するか否かの検討を行う
 - 各都道府県での検討：県内でWG案を採用した方法をとるか意見をまとめる
 - ↓
 - 各県の「意向」について、都道府県拠点病院に対して、部会事務局よりアンケート（2015年9月頃）
 - （WG案を採用し、統一した相談件数の把握を進めると決定した県においては、さらに）
 - 項目、相談記入シートの修正点等についての意見をアンケートで収集する
 - 「統一した方法で進めるか否かの決定」を行う（2015年10月頃）
 - 一定以上・・・10県以上？

(2) 相談件数のカウント

今後の具体的な進め方について（案）

(2)相談件数のカウントについて

(2015年10月頃の決定を受けて、統一した方法で進める場合には)

- 研究班（2015年度）の協力により「負担の少ない記録方式」等の運用方法の検討を開始する
 - アンケートで寄せられた意見をワーキンググループ（既存）にて再検討し、最終案を作成
 - 記入シートの提出・収集方法（Web等も含む）、集計方法など
 - 各県へ、各施設へフィードバックする方法
 - フィードバック後の結果の活用方法など
 - 研究協力施設の募集（2015年9月頃）
 - できるだけ県拠点を含む複数施設が参加できる
 - IRB審査に迅速対応可能な県単位での募集
- ↓ 2016年度 第1回部会において
- 統一した方法での検討結果の報告と共有を行う

検討内容

部会→親会への提案内容（案）

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会より厚生労働省ほか
関係検討会等に行っていただきたい提案（案）

がん情報提供および相談支援センターの活動の
PDCAサイクル確保に関する提案（案）

「困っているがん患者や家族等が減る」という最終目標に向けて、がん相談支援センターの「利用者調査」を継続的に実施することは重要であることから、そのための実施体制の整備をする必要がある。